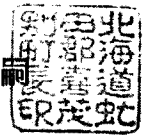


喜 企 情 号
平成 20 年 10 月 17 日

国土交通省道路局長 様

北海道虻田郡喜茂別町長 菅 原 章



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

秋麗の頃、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、別紙のとおり今後の道路行政についての意見・提案を提出いたしますので、よろしくお願いいたします。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

北海道 喜茂別町

私は道路行政は国の発展を図るバロメータであると考えております。

現在、わが国では四全総で提唱された「均衡ある国土の発展」という大前提がともすれば忘れ去られ、財政が厳しさを増している状況から効率化の追求のもと、都市部への整備が優先され、都市と地方の格差は一層拡がりつつあるというのが現実であります。

国土形成計画の全国計画においては、都市と地方の格差是正のためには、地方の持つ多様性や文化性などをはじめとした農山村の価値を見直し、「均衡ある国土の発展」に向け舵を切り直す必要があると考えます。

また、食の安全性について見直されている最近の状況は、第1次産業を中心として成り立つ地方経済の活性化と国際競争力強化を図る上でまたとない機会であると考えます。

国の発展のためには地方の発展が欠かすことができず、そのために果たすべき道路行政の役割は大きくこそなれ、縮小するものではありません。さらに地震やテロなどの自然的・人為的災害への非常時に対応するためのリスク分散を進めることも重要であります。

特に北海道は高速道路網が未完成であり、広い地理的条件と寒冷豪雪などの厳しい自然的条件を克服し更なる発展を遂げるため、また、高度医療施設へのアクセスの向上を図るなど、地方住民の生活環境の維持を行ううえでも、道路ネットワークの整備は重要でありますので、効率化による都市整備に偏ることなく、地域に暮らす住民の生活を守るための道路整備の推進についても等しく進められるよう要望いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

②－１ 地域の現状と抱える課題

様式 ②

北海道 喜茂別町

○現状

①町内を縦横に通行する国道２３０号及び２７６号については、春の行楽期から秋の輸送繁忙期まで休日に多くの車両が通行しており、交通事故の多発や市街地区での渋滞が発生している。

現在留寿都村との合併協議を進めているが、国道２３０号は両町村を結ぶ最も重要な路線であり、合併した際には一つの町として住民の往来がさらに増すことが予想される。

②四方を中山峠、尻別山など山々に囲まれ豪雪地帯である本町において冬期間の除排雪体制の充実、住民生活を営む上で欠かすことができないことであり、小中学生の通学路確保のための歩道除排雪なども必要である。

○課題

①交通事故の未然防止のための交通安全施設の整備について、中山峠地区や尻別地区において順次整備されているが、市街地区の交差点改良をはじめとした渋滞解消対策の推進と安全対策の一層の推進が課題となっている。

②除排雪体制の充実については、救急搬送や通学路の確保など住民生活に不可欠であるが、今後も財源の確保が図られるが重要な課題となっている。

現在進めている留寿都村との合併協議により新町が誕生した際には、北海道洞爺湖サミットの開催によって全世界に知られることとなった「RUSUTSU」の知名度を活かして、スキー場などのリゾート施設と地域の豊かな自然や農業との連携をさらに強化を図り、安全安心な食の地域ブランドを確立する取り組みを進めていきたいと考えている。

このため、環境保全や循環型社会を強く意識した住民参加型の取り組みや農業においては基本である土づくりから環境を意識した取り組みを一層強化し、国内外へ発信する取り組みを進めるため、合併によって生み出された職員＝人的資源を集中的に投入して大学をはじめとした各種研究機関や民間企業とも広く連携し、交流と学習から生み出される新たな可能性にチャレンジする地域としていきたいと考えている。

上記の実現のためには、交流基盤としての道路ネットワークの確保が最重要課題であり、新千歳空港からのアクセスの向上や高速道路との連結する国道230号の改良整備をはじめ、冬期間の除排雪体制の充実は不可欠である。

また、日本有数のスキーリゾートであるルスツ高原を背景とした観光資源を一層活用し、地域の魅力をさらに向上させるため、地域を自転車により周遊することができる国道への自転車レーンの整備をいち早く実現していきたいと考えている。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

北海道 喜茂別町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	・まちづくり交付金事業の推進	国道改良事業と一体となって道道、町道の整備及び子育て環境の整備を行うことにより、地域の魅力が向上し、定住意欲の喚起が図られる。	商業施設を民間資本により整備し、農産物等の提供を行う。
・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	・大規模防災管理センター整備	国道230号と276号が交差する尻別地区に開発局が防災管理センターを整備されることは冬期間の交通の確保や災害時の体制強化が図られ、地域住民にとって安心な地域づくりの拠り所として期待される。 また、同センターが今後有珠山の噴火災害等各種災害時に防災拠点として機能を発揮する場所となることが期待される。	道路管理のみならず地域防災の役割に果たす施設として住民の期待も大きい。
・少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成	・歩道等の安全確保	高齢化の進む本町にとって、住民が安心して通行できる歩道の確保は年代を問わず重要であり、特に冬期間の安全性の確保のためには、除排雪体制の充実が不可欠である。	財源の確保は課題である。